

孤独は悪との戦い

karinomaki

正当化

私達は、大抵が自分は正しいと思って生きています。私もそうです。しかし、一人で過ごす時間の長い、独身の私は、何回も自分の悪さに涙を流すのです。それは、自分を正当化したい！！
と思って生きていることが、一人の時間に見えてくるからなのです。

孤独

どうして、人には孤独が必要なのでしょうか。それは、「考える」ためです。寂しさとむきあうと、どうしても自分が間違っていることが見えてきます。一日を振り返って、悪いことをひとつも考えない日があるでしょうか。

カントは、「単なる理性の限界内の宗教」という著書において、人間は生来悪であると述べています。そのとおりなのです。

しかし、人には、悪くなってしまうても、裁かねばならない悪があると、私は考えています。それは、偽善です。自らを地におとしてでも偽善を暴き出し、裁く理由は、偽善こそが、自らを正当化し、悪を自分の心から徹底的に隠して気がつくことなく、自分は善人だと思いこむ、この世でいちばんの悪だからです。

カントのキリスト教批判

だから、カントはキリスト教を批判し、「単なる理性の限界内の宗教」は、発行禁止となりました。キリスト教は、無償の愛を説きます。しかし、自分のことをこてんぱんに踏みにじった敵を、人は本当に心から許せますか？

もしそれができるとすれば、自分が罪を全て許されて天国に行きたいからです。それしかないのです。キリスト教はカントから見れば、偽善の宗教で、教会が腐敗するのは当たり前なのです。教会の腐敗を暴いたこの書は政府によって発禁となりました。

常に人といないといけない人へ

一人になる時間がほとんどない方にお聞きします。あなたは幸せでしょうか？

私は、孤独がつらくもあり、同時に至福の幸せでもあるのですが・・・。

もし、常に誰かと向き合わねばならない方でしたら、きっと何かの拍子に自分こそは孤独だ、本当にわかってくれる人など周りに一人もいないではないか！！とある時愕然とするかもしれません。

しかし、死を考えて見て下さい。もし、孤独と戦い、悪や偽善と、罰をおそれずに戦えば、それこそ神が永遠の素晴らしさをいつか見せて下さるのです。

何故なら、「自分は悪い、弱い」と認めることほど美しい行為はないのです。

心から悔い改めるために、許してはいけない人を許すなど、自分が助かりたいだけの偽善です。ほとんどの宗教が偽善でできています。

私はカントに、天国で新しい宗教をつくりますか？と聞きたいところですが、きっと、カントは、首をふってこう言うでしょう。

孤独と向き合って悪と戦えば、永遠が見えてくるよ、永遠は神にしかない、しかし、そこへ限りなく人は向かっていける。戦い続ければね。しかし、戦うことを放棄して偽善に走って安楽になる宗教は、うそなんだ。

人といつも一緒にいても、いつも一人でいても、戦い続けることこそが孤独。孤独は美しい。・・・と。